

「新生活様式を日常に」

薩摩川内市立亀山小学校 六年

山下瑛主やましたえいす

ぼくは、小学生になってから毎年のように

インフルエンザにかかっています。でも、今年はぼくだけでなく、家族のだれもインフルエンザにかかりませんでした。

なぜ、今年はかからなかったのだろうと考えてみました。理由はいくつかあると思います。一つには、「新型コロナウイルス」が関係していると思います。コロナの感せんを防ぐために、マスクをつけたり、手洗い・うがいをしたりすることが増えたからです。コロナを防ぐことによつて、インフルエンザも予防できていたのだと思います。

ニュースでも、コロナ対策によつて、インフルエンザにかかる人がとても少なかったと言っていました。

コロナが流行するまでは、かぜをひいた時や給食の時くらいしか、マスクをつけることはありませんでした。手洗い・うがいはそれまでもやっていました。回数は今よりも少なかったし、ぼくの手洗い・うがいに対する意識も低かったように思います。

コロナが流行し始めたころは、慣れないマスクに息苦しさを感じたり、マスクをつけやすれたりすることも多かったですが、今ではマスクをつけることが当たり前になりました。

ただ、暑い時期のマスク着用は本当に苦しいです。熱中しようにならないように、周りに人がいない時は、マスクを外して深呼吸をしたり、こまめに水分補給をしたりするよう

に心がけています。

現在、街中はコロナ対策のものであふれています。あちこちに手指消毒用のアルコールが置いてあったり、座席がパーテーションで区切られていたり、かん気のためにまどやドアが開いていたりします。

ぼくが通っているスイミングスクールでも、入り口で消毒と検温をしてから入ります。プールサイドでは、プール用マスクを使っています。ぼくたちが安心して練習できるようにと考えられた対策です。

このように、いろいろな人が努力をしてくださっているおかげで、ぼくたちが安心して生活できています。

以前から、かぜやインフルエンザの予防のために、手洗い・うがいをしたり、マスクをつけたりするようと言われてきましたが、今回コロナが流行したことによつて、その大切さと有効性がよく分かりました。

マスクの着用をはじめ、こまめな手洗いや手指消毒、三密の回ひ、身体的きよりの確保といった「新生活様式」にもだいぶ慣れてきました。

これからも自分自身の予防だけでなく、周りの人にうつさないためにも、新生活様式を実践していきたいです。

そして、コロナだけでなく、かぜやインフルエンザなどの病気も予防して、健康な日々を送りたいです。